

消防分野における最新技術活用検証事業について

技術戦略室

1、事業の内容

消防庁では、令和7年度より、関係省庁（内閣府科学技術・イノベーション推進事務局、内閣府防災、文部科学省、経済産業省）や研究機関等（国立研究開発法人情報通信研究機構、国立研究開発法人防災科学技術研究所、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構）、消防機関と連携し、「消防分野における最新技術活用検証事業」を実施している。

本事業は、内閣府事前防災対策推進費※を活用して、スタートアップ企業等が開発した最新技術のうち、消防活動に活用できる可能性があるものについて、消防機関とのマッチング、現場検証、横展開を通じて、消防分野への最新技術導入に係る手法の確立を図るものである。※今後の防災庁の設置を見据え、内閣府防災担当の災害対応の司令塔機能を強化する観点から、各省庁等が実施する事前防災対策事業に対して支援する予算。

（1）本事業の背景

内閣府はじめ各省庁、研究機関等と連携して、スタートアップ企業等が開発した最新技術のうち、消防活動に活用できる可能性があるものについて、企業等と消防機関が意見交換を行い、有効性を共同で現場での活用検証を実施する機会がない。

これを踏まえ、本事業ではスタートアップ企業などの最新技術と消防機関の現場ニーズをマッチングし、共同で現場での活用検証等を行うことで、消防分野のみならず国全体への技術導入に係る具体的な手法を検討する。

（2）本事業により期待される効果

関係省庁、研究機関等と連携して危険性の高い消防現場における最新技術の社会実装を図ることで、消防庁のみならず国全体の様々な技術の現場活用の促進に貢献する。

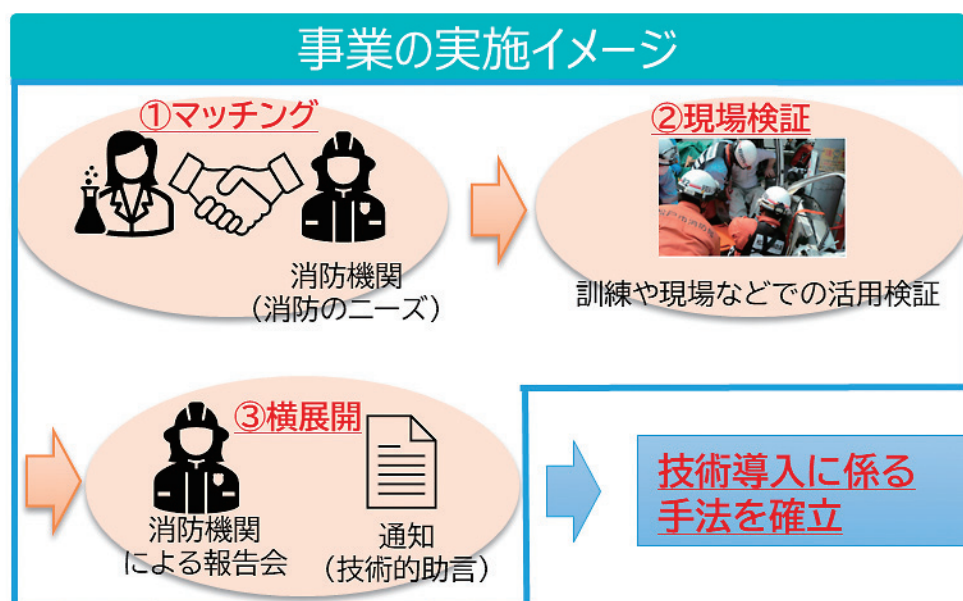


図 事業の実施イメージ

2、これまでの取組

「消防分野における最新技術活用検証事業」において、消防分野における有効性の検証を実施する技術課題（以下、「検証課題」と言う。）の選定に資する情報を収集するため、令和7年9月12日から9月30日までの期間でRFI※を実施した。

提供された情報は、「消防分野における最新技術活用検証事業」の公募における検証課題を設定するための基礎情報として活用予定である。

※RFI：Request for Information

【応募条件】

次のうち、いずれかに該当する技術であること。

- 内閣府、文部科学省、経済産業省が実施する研究開発事業において研究された、または現在研究が進められている技術（例えば、SIPやSBIR制度に係る事業など）
- 国立研究開発法人情報通信研究機構、国立研究開発法人防災科学技術研究所において研究された、または現在研究が進められている技術
- 公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構が支援する研究開発事業において研究された、または現在研究が進められている技術
- 内閣府「防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム」に登録している技術

【RFIにおいて期待する技術】

消防分野において有効と考えられるものの、現時点では消防分野における有効性が十分に検証されていない技術。

なお、以下のような技術も対象。

- 他分野向けに開発された技術で消防分野への転用が期待できるもの。
- 消防機関で既に導入が進んでいるが、従来の活用方法とは別の活用が見込まれるもの。

3、おわりに

今後、RFIの結果を踏まえて、検証課題を選定し、関係機関と連携した最新技術活用検証を進める。

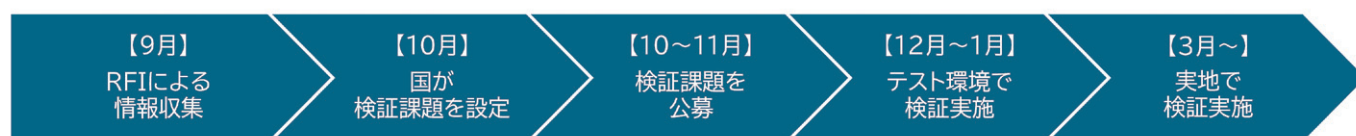


図 事業の流れ※イメージ

問合せ先

消防庁技術戦略室
TEL: 03-5253-7541